

次年度（令和8年度）に向けた改善方策

学校関係者評価委員会よりいただいた3つの提言に対し、以下のとおり「(1) 数値による指標」「(2) 改善方策」を立てました。

【提言1】金スポや運動委員を活用することで、体を動かす習慣を付け、心も体も健やかな子を育てる。

(1) 数値による指標

児童アンケート「わたしは、運動することが好きである」を75%以上

保護者アンケート「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」を80%以上にする。

(2) 改善方策

- ・引き続き金スポの時間を活用して、児童の体力向上や児童同士の関わり合いを増やす取組をすすめる。
- ・委員会(運動委員会)の児童の意見を生かしながら、児童が楽しく運動に取り組める活動を推進する。

【提言2】なりたい自分や自分の生き方について考える授業や行事を行うことで、課題解決の力を育成し、キャリア教育につなげる。

(1) 数値による指標

児童アンケート「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」を70%以上

保護者アンケート「先生は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている」を80%以上、「学校は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している」を60%以上にする。

(2) 改善方策

- ・引き続き「キャリア・パスポート」を活用し、キャリア形成に関わる児童の成長を保護者にも評価してもらおう。
- ・6年生だけでなく、他学年でも保護者や地域の方に仕事のお話を伺う「学年別キャリア教育」を実施し、児童が自分の生き方について考える機会を増やす。
- ・令和7年度に実施した起業家プログラムの経験を生かし、児童が他者と協働しながら新しい価値を創造する力や、人生の目標を考え、その実現のために計画的に努力しようとする実践力を育成し、取組の様子を保護者に発信する。

【提言3】各学年にあったネットリテラシー指導を行うとともに、家庭でもルールの見直しを親子で行うよう分かりやすく伝える。

(1) 数値による指標

児童アンケート「インターネットの使い方について、学校や家でもルールを守っている」を85%以上

保護者アンケート「子どもは、インターネットの使い方について、学校や家でのルールを守っている」を65%以上にする。

(2) 改善方策

- ・「いじめに関する授業」や「ネットリテラシー醸成講座」を通して、SNS等の適切な使い方について考える機会を定期的を設定する。
- ・保護者会の際に、家庭で子どもにスマートフォンを買い与える際のSNS使用についての約束などについて改めてお願いをする。